



みまっぱ子育て通信 第19号

資料 ④

2026年1月23日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

親子ひろば「めばえ」

今年度、第2回目の親子ひろば「めばえ」です。0～2歳児の子ども達と保護者の方がゆったりと過ごせる少人数制のひろばです。感染予防対策を徹底しながら、地域の子育て広場としての役割を担えるよう、今後も開催を計画しています。どなたでも参加できますので、また是非遊びにいらしてください。

「めばえ」の流れ

1月23日(金)

10:00～11:00

美作大学多目的ホール(本館2F)

10:00～10:40

木の玩具や手作り玩具、おままごと、運動遊び、造形遊びなどで遊ぼう！

10:40～11:00

学生によるお楽しみ

わらべうた・季節のうた・ふれあい遊び

美作大学短期大学部の教員2名が常駐し、子ども達の主体的な遊びを見守り、子どもや子育てに関する相談に応じます。幼児教育学科の学生が「乳児保育Ⅱ」の授業の一環で参加します。

次回「めばえ」開催予定月

2026年春～

場所:美作大学本館多目的ホール
津山市社会福祉協議会様からのメール配信と
本学HPにて日時をお知らせいたします。

はぐくみ

*このコーナーでは大学の教員が、保育の専門的視点から子育てに関するメッセージをお届けします。

乳幼児健診の「できた？」の裏側にある、小さな物語

乳幼児健診の日。それは、お子さんの成長を見守る大切な節目ですね。けれど、お昼寝の時間に慣れない場所で、知らない大人に囲まれる時間は、小さな子どもたちにとっては心細い大冒険。

たとえば、3歳児健診の項目にある「ハサミは使える?」「丸は描ける?」という問いを見て、つい「練習させなきゃ」と焦ることもあるかもしれません。でも、道具を使いこなすまでには、実は胎児期から続く、とても長い道のりと積み重ねがあるのです。

最初は腕全体を大きく動かすことから始まり、やがて指先へと発達がつながり、道具を使用できるようになっていきます。かつては5本の指をぎゅっと一緒に握っていた手も、外遊びで遊具を握ったり、お部屋遊びではシールをそっとはがしたりする経験を重ねるうちに、少しずつ腕から指先へと力が伝わり、成長していきます。そして小指→薬指→中指の順番でそれぞれの指が役割を覚えながら発達し、一本ずつしなやかに動かせるようになり、「つまむ」という微細な動きへとつながっていくのです。子どもたちにとって、日々の暮らしの中で出会う自然物や、大好きなおもちゃは、小学校の教科書と同じくらい大切な「学びの教材」。遊びの中で育まれる体の動きには、目には見えにくいけれど確かな成長の物語が詰まっています。

生活が便利になり、意識しないと指先を使う機会が少なくなった現代では、健診の項目も、もしかしたら子どもたちにとって少しだけ「背伸び」が必要なものかもしれません。だからこそ、「できる・できない」の二択で測るのではなく、その真ん中にある、昨日よりもう少ししなやかに動いた指先や、「やってみたい!」と一心に手を伸ばして夢中になる、その自発的なエネルギーを見つめてみませんか。

一人ひとりの子どもたちの今の姿を大切にしながら、そこから一歩ずつ、健やかな発達へとつながっていくようなおもちゃ選びや暮らしの工夫を、これからも一緒に見つけていけたらと願っています。

美作大学短期大学部 幼児教育学科
准教授 カルマール良子

2025年12月17日開催
みまさか子育てカレッジ
親子広場「めばえ」

2026年1月23日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>



子どもたちの年齢や月齢を踏まえて玩具を用意し、様々な遊びコーナーをつくりました。一人一人のペース・タイミングでじっくり玩具に関わる姿があり、また玩具をきっかけに一緒に過ごす心地よさを感じている姿がありました。夢中で遊んでいる姿に、学生たちも当初の予定を柔軟に変更し、今、楽しんでいることを十分にできるように工夫する姿がありました。



ダンボール製のそりに好きなシールを貼って装飾をしたり、乗って楽しみました。はじめは興味がなくても、友達が遊んでいる様子に気づいて、そり遊びに参加する姿がありました。会の最後には、クリスマスソングに合わせて鈴を鳴らして遊びました。